

令和5年度 第3回「地域連携担当者」等新任研修 開催報告

- 1 趣旨 生涯学習・社会教育の専門的知識の習得ならびにコーディネート能力の向上を図るなど、社会に開かれた教育課程を実現する上で学校と地域を結ぶ指導的役割を担う教職員の資質向上を図る。
- 2 主催 滋賀県教育委員会
- 3 対象 県内「地域連携担当者」等新任研修受講者
- 4 日時 令和5年10月24日（火）
午前（9:30～12:00）の部：【中学校・特別支援学校・高等学校】対象
午後（14:00～16:30）の部：【市町立小学校・義務教育学校】対象
- 5 会場 滋賀県庁 新館7階 大会議室（大津市京町四丁目1番1号）
オンライン（Zoom）併用による開催
- 6 内容 ○午前の部 【中学校・特別支援学校・高等学校】対象
(1) 事例紹介 ・米原市立大東中学校 教諭 高橋 淳 氏（社会教育士）
・滋賀県立日野高等学校 教諭 井上 ちひろ 氏
(2) グループ別情報交換
(3) 閉講式
○午後の部 【市町立小学校・義務教育学校】対象
(1) 事例紹介 ・野洲市立篠原小学校 事務主査 奥 円 氏（社会教育士）
・近江八幡市立八幡小学校 教頭 藤池 政人 氏
(2) グループ別情報交換
(3) 閉講式
- 7 参加者数 129名（来場25名、オンライン104名）
午前：事例紹介2名、会場参加13名、オンライン参加51名
午後：事例紹介2名、会場参加8名、オンライン参加53名

8 事例紹介の概要

○米原市立大東中学校

地域とともに取り組む「DAITOアクティビティ」の様々な活動を御紹介いただきました。常に生徒が主体的に活動できるよう参加方法や広報を工夫されていることを教えていただきました。高橋先生にとってのキーパーソンは、強力なリーダーシップを発揮された校長先生であり、教職員がチームで動く体制が整っている点は大変参考になりました。生徒の声を取り入れることで充実した活動にしていきたい、また、地域の願いを踏まえて地域とともに歩む学校づくりを進めたい、と今後の展望についても熱く語っていただきました。

○滋賀県立日野高等学校

1年生の「日野チャレ」、2年生の「就業体験」、3年生の「日野高カフェ」・「日野マルシェ」について御紹介いただきました。ボランティアサークルでは、TeamsやFormsを活用して効率的に地域と生徒のマッチングをされている点を教えていただき、大変参考になりました。井上先生からは、教員以外に外部との交渉や調整を担う人がいると助かるという思いがある中で、現在、行政職員や商店街の店主がキーパーソンとなって地域連携を支えておられることをお話しいただきました。



○野洲市立篠原小学校

「しのつ子サロン」、コミスクしゃべり会での熟議、地域・保護者・学校のおしゃべりパーティーなど、魅力的な取組を多数紹介いただきました。コミュニティ・スクールの導入により、教職員と地域がつながり、思いを共有することで安心感が生まれたという話は、たいへん印象的でした。奥事務主査からは、「キーパーソンは、学校と地域を良く知っている人である」、「地域連携担当は、つなげるための調整役である」、「事務職員だからこそ顔をあわせてつながりやすい」と伝えていただきました。



○近江八幡市立八幡小学校

「地域と学校が協働した活動」が充実しているのは、八幡小を愛し、誇りに思う地域住民のおかげであること、PTAに頼らなくても行事が進められているのは、地域学校協働活動推進員のおかげであることを教えていただきました。藤池教頭先生の考えるキーパーソンは地域学校協働活動推進員で、職員室に席があることで教職員との距離が近く、スムーズな連携が可能となっていると伝えてくださいました。管理職が代わっても、推進員が変わらず地域とつながることで、持続可能な取組になっているという話はたいへん印象的でした。



9 参加者のアンケート・情報交換の記録より（抜粋）

【午前の事例紹介】

- ・「DAITOアクティビティ」の取組がとても印象的であった。管理職と社会教育士を中心に8名のグループを作り、地域と連携する取組は参考になりました。
- ・地域の自然・歴史・文化を十分活用された取組であることがよく伝わりました。制服検討委員会に、地域の方も加えている発想は新しいものでした。こういう工夫ができるように、さらに研修を深めていきたいと思います。
- ・ビブリオバトルは本校でも実施しているのですが、地域連携につなげられることを知りました。また、教員の負担にならないように校務分掌に入られていることも参考になりました。
- ・これまでは、学校のために地域に何をしてもらおうか、という受け身的な考えが強かったので、意識を変えることができました。
- ・「日野高カフェ」など長く続けている取組があることに加え、「日野チャレ」での地域からの提言を活かした運用・循環方法は同じ高校教諭として勉強になりました。
- ・生徒へのアナウンスや人数の確保など、やりづらさを感じていたので、ボランティア募集のシステムがとても勉強になりました。
- ・井上先生がおっしゃった「地域活性化のために連携する」というのが特に印象に残りました。

【午後の事例紹介】

- ・地域や園との合同おしゃべり会やPTAの役員の方とのおしゃべりパーティーを実施されていて、会議とは違い、いろいろな意見や思いを気軽に聞くことができるところを、ぜひ参考にしたいと思いました。
- ・地域連携担当としての仕事は、つなげるための調整役ということが具体例とともに納得できました。持続可能な取組となることが大切で、本校ではどうしていくべきか考えさせられました。
- ・最後に言うておられた、学校のまわりを見渡し、どことつながれるのか、子どもの学びとどうつながるのかを考えて進めていく、という言葉に共感しました。
- ・地域の方による地域研修がとてもよいと思いました。参考にしたいです。
- ・PTAに頼らなくても、たくさんの方の協力体制があり、地域学校協働活動推進員の方がそれをつなげながらそれぞれの行事が進められていることが素晴らしいと思いました。
- ・キーパーソンである地域学校協働活動推進員の席が職員室にあるという事例は、担任がボランティアさんや地域のことについて直接相談でき、とてもよいと思いました。
- ・担当がいないと動かないようなシステムではダメだと話されていたことが印象的でした。
- ・八幡小学校の事例を伺い、働き方改革になるというイメージが少し持てました。

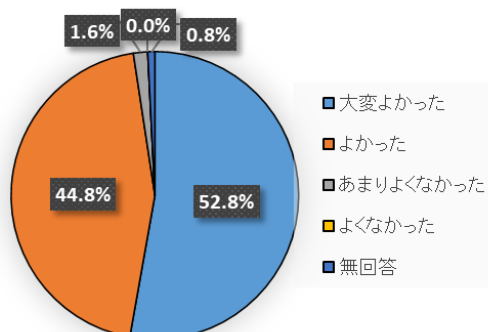
【グループ別情報交換】

- ・地域と連携することで、最終的に子どもたちに地域に戻ってきてほしいという願いがある。
- ・地域連携担当の通常業務や授業はどのようになっているのか聞きたかった。
- ・高校の中でも、普通科、総合学科、専門学科で地域とのつながりや人脈の幅が随分と変わってくる。特に、普通科は生徒をどのように地域とつないでいくか難しい。
- ・保護者の力を学校に活用したい。
- ・情報の発信と受信を丁寧にしていきたい。
- ・単発の活動はあるが、コミュニティ・スクールの効果的な活動になっていないことが悩み。
- ・地域学校協働活動推進員と学校の思いが、ずれるときがあり、困ることがある。
- ・教職員全体がコミュニティ・スクールのことを理解し、地域の人はどうやって学校に参画してもらうかをよく協議する必要がある。
- ・一人ではなく、複数で進めていく体制が大切。
- ・他の職員にお願いしにくいので、結局担当者が負担している現状である。
- ・学園祭で地域とコラボしている。飲食店にとっては宣伝になり、生徒は接客を経験できてよい。
- ・地域連携について共通認識ができていないか、担当する一部のものがやっていないか、と感じる。
- ・教員は校内のことで手一杯。学校内にチームがないので、そこをどうにかしたい。
- ・新しく土地が開拓された地域も多いので、地域連携をおこないにくいという課題がある。
- ・アントレプレナーシップ教育、インクルーシブ教育により、産業について学ぶ機会、地域課題を把握する機会がある。
- ・地域とのつながりを持つことは難しい。総合学習の中に地域連携の項目はない。
- ・地域連携を進めていくうえで、業務負担の増加が心配されるので、打開策を考えていかなければならない。
- ・地域の中の学校なので、地域の力を活用すべきである。そのためには、地域をよく知る教員の配置をすべきである。
- ・学校側は管理職のリーダーシップが必要。
- ・続けていくには、地域が自主的に取り組めるもの。学校がやってもらうのではなく、地域と子育てするつもりで。
- ・うまく回りだしたら働き方改革につながりそうだが、そこに至るまでが大変そう。
- ・一番大切にしたいのは、顔をたくさん合わせることに。
- ・行事がいっぱいある。子どもたちに、こんな力をつけたいから、これをするといった精査が必要。
- ・地域の方の高齢化により、持続可能な取組にしていけるか心配。
- ・地域の回覧板に、学校のボランティア募集のお願いしたら、何人か希望者があった。
- ・できる人が、できるときにできることを、よくばらず、がんばりすぎない。

地域連携のキーパーソン（情報交換より）

- | | | | |
|--------------|--------|--------------------|-------|
| ・教頭 | ・学年主任 | ・学校運営協議会の会長 | ・地域住民 |
| ・教職員 | ・PTA会長 | ・教員のOB | ・民生委員 |
| ・地域学校協働活動推進員 | | ・地域連携担当教職員（教務主任など） | |

（1）地域連携の取組にかかる事例紹介について



（2）グループ別情報交換について

